

科目コード	2697211	授業概要 【授業内容】 中国古代、前漢王朝の武帝期を生きた歴史家である司馬遷が編纂した『史記』を題材として授業を行います。『史記』は紀伝体という歴史記述の体裁をもち、帝王の伝記を記した「本紀」と臣下の伝記を記した「列伝」を主体として成ります。本授業では、主に、列伝に収められた幾人かの伝記を取り上げ、これを「知己」（人が己の真価を知ること）という語をキーワードとして読み解き、司馬遷が是認した人々の生き方を押さえます。そのうえで、司馬遷自身の伝記である「太史公自序」をも取り上げて、司馬遷がどのような思いや考えに立って『史記』を編纂するに至ったのかを講じていきます。 【到達目標】 本授業を受講することにより、学生は『史記』列伝についての知識・理解を深めつつ、司馬遷の伝記制作が『史記』編纂の動機とつながることを理解できる。さらに漢文の訓読と現代語訳を用いる本授業の内容を理解することで、学生は授業の最後に行う筆記試験において、漢文資料の内容に対する学生自身の思考・判断を文章として表現できる。 【授業テーマ】 第1回『呂氏春秋』の「知音」の故事と『史記』の「知己」の語との関わり 第2回「管鮑の交わり」のありようを『史記』管仲伝を通して見る 第3回 刺客・豫讓が従う士の行動規範を『史記』豫讓伝を通して見る 第4回 韓非が語る遊説が困難な理由を『史記』韓非伝を通して見る 第5回 悲運の忠臣・屈原の生き方を『史記』屈原伝を通して見る 第6回 司馬遷が描く孔子の人生を『史記』孔子世家を通して見る 第7回 司馬遷にとつての著述の意味を『史記』伯夷伝を通して見る 第8回 司馬遷にとつての著述の意味を『史記』太史公自序を通して見る 【学生へのメッセージ】 配付する漢文資料は旧字体・繁体字の漢文に訓点（返り点・送り仮名）を施したものが主となります。これを読み下しながら授業を行いますので、学生は漢文訓読の初歩的知識を習得していることが望ましいと考えます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断し、『史記』についての一般向けの翻訳書や解説書などを用いて自己学習に努めてください。また「参考書」として挙げた図書などを用いて漢文訓読の初歩的知識を得ておいてください。なお、「参考書」として挙げた図書は購入を必須とするものではありません。最寄りの図書館等で借りて参照する形で問題ありません。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・史記（貝塚茂樹／中公新書／¥792／ISBN=9784121000125） 一般向けの解説書です。 ・史記を語る（宮崎市定／岩波文庫／¥858／ISBN=9784003313329） 一般向けの解説書です。 ・司馬遷とその時代（東洋叢書8）（藤田勝久／東京大学出版会／¥3,080／ISBN=9784130130387） 研究者向けの専門書です。 ・漢文の語法（西田太一郎／角川ソフィア文庫／¥1,782／ISBN=9784044006341） 漢文読解力を養うための、「漢文の語法」を体系的に解説する指南書です。 ・漢文の読法 史記 游侠列伝（齋藤希史・田口一郎／角川書店／¥1,782／ISBN=9784044007881） 『史記』游侠列伝の原文を漢文の語法を解説しながら論理的に読み解こうとする、「漢文の読法」の指南書です。
学習センター	山口学習センター	
学習センターコード	35A	
クラスコード	K	
科目名	「知己」から見る 司馬遷『史記』	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ナンプ ヒデヒコ 南部 英彦 山口大学准教授	
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月22日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 議・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	山口学習センター	